



2024年1月30日

各 位

会社名： 株式会社 小野 測 器
代表者名： 取締役社長 大越 祐史
(コード番号6858 東証スタンダード)
問合せ先： 取締役 濱 田 仁
常務執行役員
(TEL. 045-476-9706)

業績予想と実績値の差異及び特別損失の発生ならびに 法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

2023年7月24日に開示いたしました2023年12月期の通期連結業績予想値と、本日公表いたしました実績値に差異が生じたこと、及び特別損失の計上、ならびに、法人税等調整額を計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期通期連結業績予想と実績値の差異（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	12,000	200	250	200	18.92
実績値（B）	11,539	139	204	438	41.68
増減額（B－A）	△460	△60	△45	238	－
増減率（％）	△3.8	△30.50	△18.33	119.22	－
（ご参考）前期通期実績 （2022年12月期）	10,928	55	211	246	23.82

2. 差異の理由

売上高については、全社を挙げての受注獲得、販売促進活動を行い、お客様指定納期に向けて生産に注力をした結果、予想値は下回ったものの、ほぼ想定に近い売上高を計上出来ました。営業利益、経常利益については、費用面での圧縮もありながら、原材料価格の上昇による製造原価の増加等の影響により、予想値を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益については、政策保有株式の見直しを行い、一部を売却したことにより投資有価証券売却益の計上があり、連結子会社である株式会社Sound Oneにおいては、所有している事業用資産のソフトウェアを減損損失として計上いたしました。また、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額（益）を計上したことなどから、予想値を上回ることとなりました。

3. 減損損失（特別損失）計上の理由

今後の事業計画を見直した結果、当社の連結子会社である株式会社Sound Oneが所有している事業用資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、ソフトウェア80百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

4. 法人税等調整額（益）の計上の理由

2023年9月27日に開示をしました通り、現本社の土地、建物を売却決定したことにより、2024年に固定資産売却益の計上を見込んでおります。それに伴い、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰越欠損金の回収が見込まれることなどにより、法人税等調整額（益）232百万円を計上することとなりました。

以上